

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 日本ラッド株式会社

コード番号 4736 URL <http://nippon-rad.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 長岡 均

問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長

(氏名) 佐々木 啓雄

TEL 03-5919-3001

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,083	14.6	△280	—	△269	—	△175	—
21年3月期第1四半期	945	—	△70	—	△62	—	△22	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△43.88	—
21年3月期第1四半期	△5.51	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	3,801	1,666	42.7	405.37
21年3月期	4,106	1,870	43.7	448.80

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 1,635百万円 21年3月期 1,795百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(％表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 連結累計期間	2,681	42.9	△164	—	△175	—	△160	—	△39.98
通期	6,272	37.7	86	△44.5	66	△33.3	16	△81.2	4.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
詳細は、【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

詳細は、【定性的情報・財務諸表等】「4. その他」をご覧ください。

#### (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	4,505,390株	21年3月期	4,505,390株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	503,644株	21年3月期	503,644株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	4,001,746株	21年3月期第1四半期	4,001,880株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 連結業績予想に関する事項につきましては、平成21年5月20日に公表いたしました業績予想に変更はございません。
2. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間（平成21年4月1日から平成21年6月30日）におけるわが国経済は、将来に対する明るい兆しが見えつつも、サブプライムローンの破綻に端を発した世界的な経済環境が依然として不透明感をぬぐえない状況が続いており、企業収益も弱く、個人消費も伸び悩むなど、先行きの不透明感は継続しております。当社グループの属する情報サービス業界においても、回復基調の傾向が見られる状況がありますが、顧客企業の投資意欲の力強い回復までは至らず、総じて厳しい経営環境が続き、今後においてはより強力な営業を行うことが求められております。

このような状況の下、当社グループは、高収益体質への転換と中期的成長への基盤構築を目指して、平成21年4月、営業部門の強化と新たなビジネスモデル構築を目的とした組織改編を行い、又新たな事業の柱を造り、ソフトウェア受託開発事業の受注案件拡大に向けた営業強化に役立つものとして、平成20年12月、ユニコテクノスの事業を譲り受け、生産力向上を目的とした効率化を進めました。そして平成21年6月、新たな役員を迎えてより積極的な営業を迅速に進める体制を整えました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結会計期間の売上高は、10億83百万円（前年同期比14.6%増）となりました。利益につきましては、売上高は堅調に推移しておりますが、期末仕掛品が減少したことから、営業損失2億80百万円（前年同期は70百万円の損失）、経常損失2億69百万円（前年同期は62百万円の損失）となりました。

このような状況の中、賞与引当金戻入額45百万円等があり、四半期純損失は1億75百万円（前年同期は22百万円の損失）となりました。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

「ソフトウェア開発事業」の売上高は、制御・通信系及び業務アプリケーション系のソフトウェア受託開発等により、売上高は7億61百万円（前年同期比2.4%増）となりました。

「プロダクト販売その他事業」の売上高は、人材派遣事業、車輛運行管理システム事業等が低調に推移したものの、「デマンド交通システム」をはじめとする地図情報を利用したITサービスや子会社のインターネットデータセンター事業が堅調に推移したことや子会社の委託放送事業が加わったことにより、売上高は3億22百万円（前年同期比59.8%増）となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億4百万円減少し、38億1百万円となりました。

流動資産につきましては、27億94百万円（前連結会計年度末は30億82百万円）となり2億87百万円の減少となりました。これは主に売上高の減少による受取手形及び売掛金の減少4億29百万円、商品及び製品の減少62百万円、売掛金の回収による現金及び預金の増加1億58百万円、未収入金の増加31百万円などによるものです。

固定資産につきましては、10億6百万円（前連結会計年度末は10億23百万円）となり、16百万円の減少となりました。これは主に子会社日本ラッド情報サービスがユニコテクノスの事業を譲り受けたことに伴うのれんの償却による減少4百万円、差入保証金の減少14百万円、投資有価証券の増加4百万円などによるものです。

##### (負債)

負債につきましては、21億35百万円（前連結会計年度末は22億35百万円）となり、1億円の減少となりました。これは主に短期借入金返済による減少30百万円、賞与引当金の減少89百万円、退職給付引当金の増加8百万円などによるものです。

##### (純資産)

純資産につきましては、16億66百万円（前連結会計年度末は18億70百万円）となり、2億4百万円の減少となりました。これは主に少数株主持分の減少31百万円、四半期純損失による連結剰余金の減少1億75百万円などによるものです。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フローが1億99百万円の収入、投資活動によるキャッシュ・フローが84百万円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが30百万円の支出となったことにより、前連結会計年度末より1億58百万円増加し18億54百万円となりました。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期連結累計期間における、営業活動によるキャッシュ・フローは1億99百万円の収入となり前年同期比27百万円の収入増となりました。これは主に、売上債権の増加4億42百万円、たな卸資産評価損による増加54百万円などによるプラス要因と、賞与引当金の減少89百万円、仕入債務の減少71百万円、税金等調整前四半期純損失2億3百万円

などのマイナス要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期連結累計期間における、投資活動によるキャッシュ・フローは8百万円の支出（前年同期は24百万円の収入）となりました。これは主に固定資産の取得7百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当四半期連結累計期間における、財務活動によるキャッシュ・フローは30百万円の支出（前年同期は55百万円の支出）となりました。これは主に、短期借入金の減少30百万円などによるものです。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結会計期間が当初計画どおり推移したことから、現時点では平成21年5月20日の決算発表時の業績予想から変更はありません。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 1. 簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度決算において算定した貸倒実績率等の合理的な基準を使用して一般債権の貸倒見積高を算定しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

#### 2. 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

#### 会計処理基準に関する事項の変更

当第1四半期連結会計期間より、受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を適用し、当第1四半期連結会計期間に着手した請負契約から、当第1四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる場合については工事進行基準（工事の進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

なお、この変更に伴う売上高、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,854,203	1,695,262
受取手形及び売掛金	656,691	1,086,588
商品及び製品	28,747	90,906
仕掛品	114,441	110,957
原材料及び貯蔵品	18,049	17,881
その他	127,872	85,159
貸倒引当金	△5,188	△4,039
流動資産合計	2,794,817	3,082,715
固定資産		
有形固定資産	494,197	492,373
無形固定資産		
のれん	72,660	76,773
その他	22,046	22,778
無形固定資産合計	94,706	99,551
投資その他の資産		
投資有価証券	61,935	57,051
繰延税金資産	245,362	246,903
その他	173,312	190,375
貸倒引当金	△62,674	△62,704
投資その他の資産合計	417,935	431,626
固定資産合計	1,006,839	1,023,551
資産合計	3,801,657	4,106,267
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	213,377	294,543
短期借入金	34,000	64,000
1年内償還予定の社債	120,000	120,000
リース債務	2,207	2,185
未払法人税等	5,980	24,572
賞与引当金	45,228	134,536
受注損失引当金	7,726	3,314
その他	345,729	240,065
流動負債合計	774,249	883,218
固定負債		
社債	780,000	780,000
リース債務	4,079	4,639
退職給付引当金	350,171	341,879
役員退職慰労引当金	213,911	212,299

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負ののれん	10,071	10,608
その他	2,693	2,992
固定負債合計	1,360,926	1,352,419
負債合計	2,135,175	2,235,637
純資産の部		
株主資本		
資本金	772,830	772,830
資本剰余金	880,942	880,942
利益剰余金	199,193	374,792
自己株式	△233,558	△233,558
株主資本合計	1,619,408	1,795,006
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,768	522
為替換算調整勘定	—	452
評価・換算差額等合計	2,768	975
新株予約権	3,452	2,624
少数株主持分	40,852	72,023
純資産合計	1,666,482	1,870,629
負債純資産合計	3,801,657	4,106,267

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	945,706	1,083,933
売上原価	821,518	1,116,202
売上総利益又は売上総損失(△)	124,188	△32,268
販売費及び一般管理費	194,260	248,562
営業損失(△)	△70,072	△280,830
営業外収益		
受取利息	251	190
受取配当金	479	154
負ののれん償却額	472	—
持分法による投資利益	6,476	1,248
助成金収入	—	16,301
その他	3,025	196
営業外収益合計	10,705	18,091
営業外費用		
支払利息	2,212	4,086
不動産賃貸原価	742	568
その他	186	2,358
営業外費用合計	3,142	7,013
経常損失(△)	△62,508	△269,752
特別利益		
投資有価証券売却益	34,094	—
賞与引当金戻入額	23,327	45,291
その他	565	20,738
特別利益合計	57,986	66,030
特別損失		
販売権評価損	32,771	—
その他	367	—
特別損失合計	33,138	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△37,659	△203,722
法人税等	△13,319	3,047
少数株主損失(△)	△2,308	△31,170
四半期純損失(△)	△22,030	△175,598

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△37,659	△203,722
たな卸資産評価損	—	54,225
減価償却費	7,849	6,535
販売権償却額	12,173	—
のれん償却額	—	3,575
負ののれん償却額	△472	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	7,825	8,291
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	1,898	1,612
賞与引当金の増減額(△は減少)	△86,665	△89,307
貸倒引当金の増減額(△は減少)	773	1,118
受注損失引当金の増減額(△は減少)	2,809	4,411
受取利息及び受取配当金	△731	△344
支払利息	2,212	4,086
為替差損益(△は益)	△1,504	1,151
持分法による投資損益(△は益)	△6,476	△1,248
助成金収入	—	△16,301
投資有価証券売却損益(△は益)	△34,094	—
投資有価証券評価損益(△は益)	367	—
販売権評価損	32,771	—
売上債権の増減額(△は増加)	145,156	442,979
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,932	4,281
仕入債務の増減額(△は減少)	△9,355	△71,702
その他	159,193	68,556
小計	198,001	218,195
利息及び配当金の受取額	733	346
利息の支払額	△100	△2,114
法人税等の支払額	△27,472	△17,337
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,161	199,090
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,565	△7,673
無形固定資産の取得による支出	△5,005	△402
投資有価証券の取得による支出	△348	△299
投資有価証券の売却による収入	34,094	—
敷金の回収による収入	—	281
短期貸付金の純増減額(△は増加)	△333	△366
その他	△985	30
投資活動によるキャッシュ・フロー	24,856	△8,431



(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△41,500	△30,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	—	△538
配当金の支払額	△14,099	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△55,599	△30,567
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,504	△1,151
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	141,922	158,940
現金及び現金同等物の期首残高	1,462,513	1,695,262
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,604,435	1,854,203

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	ソフトウェア 開発事業 (千円)	プロダクツ 販売その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	744,022	201,684	945,706	—	945,706
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	6,252	19,552	25,805	(25,805)	—
計	750,274	221,237	971,511	(25,805)	945,706
営業利益(又は損失)	100,773	(57,970)	42,802	(112,874)	(70,072)

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	ソフトウェア 開発事業 (千円)	プロダクツ 販売その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	761,699	322,234	1,083,933	—	1,083,933
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,079	24,921	28,000	(28,000)	—
計	764,778	347,155	1,111,934	(28,000)	1,083,933
営業利益(又は損失)	(98,893)	(50,942)	(149,835)	(130,995)	(280,830)

(注) 1. 事業区分の方法

事業は、製品系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

2. 各区分に属する主要な製品

- (1) ソフトウェア開発事業 . . . . . 制御・通信系ソフト開発  
汎用・ミドル系ソフト開発  
業務アプリケーション系ソフト開発  
ハード・ファーム系ソフト開発

- (2) プロダクツ販売その他事業 . . . . . ハードウェア、パッケージ・ソフトウェア販売、ロイヤルティ、委託放送事業他

[所在地別セグメント情報]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)において、海外売上高がないため、該当事項はありません。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。